

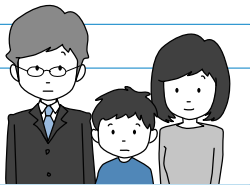
災害現場を想像してみよう

事例 1

もしもマンションに住むある家族が地震に遭ったとしたら…。小学生の子を持つお母さんの視点で発生時の様子を見ていきます。

モデルデータ

住居:築15年のマンション11階建ての11階
 家族構成:夫40歳(会社員)、
 本人36歳(主婦)、長男8歳(小学3年)



お母さんの見た光景
 8月14日(土)夜11時24分
 夫とソファでテレビを見ていたわたしは、雷のようなドーンという音とともに突き上げられ、体が放り出されるように感じ、体が放り出される。テレビが飛んできて、食器棚が倒れる！グワッシャーーン！すごい音が響き、照明が消えた。「うわっ！」。夫が叫んだ。倒れた食器棚に足を挟まれたようだ。

マンションが横に揺れ、わたしはソファにしがみついた。隣の部屋から子どもの泣き声が聞こえる。「どうしよう、助けなさい！」。でも、立てない！
 11時26分 揺れがおさまり、立ち上がった瞬間、「痛っ！」。割れたガラスを踏んでしまった。暗闇でうめいている夫がぼんやりと見える。懐中電灯は埋もれてどこにあるか見当もつかない。
 11時53分 出血した足で家具

の山を乗り越え、やっと子ども部屋の前に到着。だが、ドアが開かない。倒れた本棚が邪魔になっている。無理やり押し開けて、ようやく、すき間から部屋に入ることができた。子どもにけがはない様子だ。
 11時59分 夫は痛みで歩けないようだ。電話はつながらない。のどが渇いたが蛇口から水が出ない。助けを求め、ズキズキと痛み足を引かずして家を出た…。

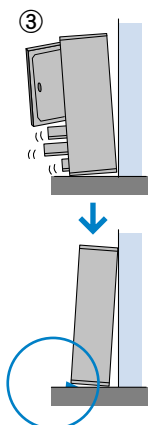
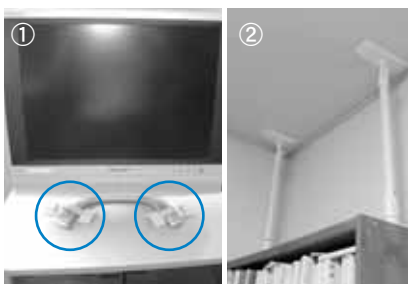
モデルケースに見る

ケガをしないための地震対策

地震による家具の転倒で大きなけがをしたり、命を落としたりする可能性もあります。こうしたことを防ぐため対策が必要です。

テレビやたんすなどの大型家具は固定

①テレビと台は、市販の専用ベルトなどで一体に。②棚などはL字型の金具や突っ張り棒で固定。③家具の手前下に板などを入れると倒れにくくなる。



窓、照明のガラスに注意

窓には飛散防止フィルムを張ったり、レースのカーテンをしたりするとガラスの飛び散りを防げる。つり下げ型照明は、ワイヤーなどで天井とつながり、固定型に変える。

懐中電灯などを用意

懐中電灯のほか、ガラスが割れたときのためのスリッパや履物を、就寝場所などに配置する。

マンションの上層階は特に注意

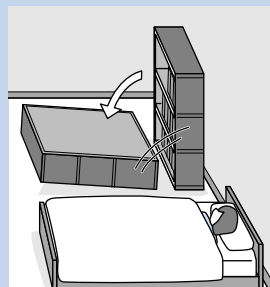
高層マンションの上層階は揺れが大きくなる可能性がありますので、上記の対策を必ず行うようにしましょう。



チェック

負傷の原因の約7割は家具やガラス

阪神・淡路大震災での負傷者のうち、倒れてきた家具や割れたガラスが原因で負傷した方は7割を占めます。家具は固定するか、もしくは配置を工夫してください。ホームセンターなどでは、固定金具などのほかに、さまざまな防災グッズを販売しています。詳しくは店舗にご確認ください。



転倒方向に寝ないようにする